

令和3年度 第2回花見川区支え合いのまち推進協議会議事要旨

日 時 令和3年10月20日(水) 午後3時～午後4時

場 所 花見川保健福祉センター3階大会議室

出席委員数	22人
欠席委員数	3人
オブザーバー	1人
傍聴人	1人
事務局	9人

【1】次第

- 1 開会
- 2 会議の公開について
- 3 議題
(1)「花見川区支え合いのまち推進計画（第5期花見川区地域福祉計画原案）」について
- 4 閉会

【2】議事要旨

委員定数25名のうち、3名の欠席を確認し開会した。

事務局より、会議の公開について説明があり、傍聴人の入室、会議録の作成、ホームページ及び推進協だより等への掲載のため、写真撮影、録音を行うことについて、また自治会等を通じ地域住民や公共の場に公開させていただく旨、了承を得た。（今回傍聴人1名。）

議題

- (1)「花見川区支え合いのまち推進計画（第5期花見川区地域福祉計画原案）」について
花見川区高齢障害支援課田口主査から「花見川区支え合いのまち推進計画（第5期花見川区地域福祉計画原案）」について、前回の議論を踏まえた修正案の説明があった。

<質疑応答>

各委員	意見なし
原田委員長	文言については、各委員でいろいろ思うところもあると思いますが、事務局の修正案を「花見川区支え合いのまち推進計画」（以下（原案）という。）として、市地域福祉課に提出したいと思います。ありがとうございました。
原田委員長	（原田委員長が作成した）「花見川区内社協地区部会別人口構成、動向（R3年9月版）（以下「地区部会別資料」という。）」については、市地域福祉課へ提出する「原案」では、各地区部会の状況の詳細まで書ききれていないので、各委員には補足資料として読んでいただき、ご理解いただきたいと思います。 以下、「地区部会別資料」の説明が原田委員長からあった。
各委員	特に意見なし
原田委員長	事務局から何かありますか。
事務局(田口)	今後のスケジュールですが、今回承認いただいた内容で「花見川区支え合いのまち推進計画」を10月末までに市地域福祉課に提出します。 市全体の計画「支え合いのまち千葉 推進計画 第5期千葉市地域福祉計画」は令和4年度から5年間の計画として策定します。 次回の推進協は、令和4年3月に開催予定です。
原田委員長	他に何かありますか。
蜂巣委員	自分の地区の外国人の人数は把握していますが、他地区の状況も確認したいので「地区部会別資料」に外国人の人数のデータがあると助かります。

原田委員長 今回の「原案」と「地区部会別資料」の人口のデータには、外国人も含まれています。
小学校区単位の外国人のデータを資料として持っているので、別途提供したいと思います。

齋藤委員 「地区部会別資料」9ページ(4)世帯人数の「若年単身者」は50代を指していますか。

原田委員長 もっと若い年代で、賃貸住宅を借りている人を指しています。
長島委員。花見川団地では、高齢の単身者も増えていますが、若い世代の単身者も増えていきますよね？

長島委員 若い世代の単身者も増えていきます。

齋藤委員 (こてはし台は)戸建て世帯なので、若年単身者の捉え方が違った。50代の単身者を心配している。同居していた親が亡くなると1人暮らしが多い。
地域活動の担い手になって欲しいが、地域への溶け込みが難しい。

原田委員長 8050問題。親は挨拶を交わすなど地域との関わりがあるが、子は全く地域と交流がないケースが多い。
見守りも75歳以上の単身者だけでも難しい。
民生委員も(50代は)高齢者名簿にもなく、実態がつかめない。
50代の単身者は深刻な問題だ。

齋藤委員 地域に出てきて、関わりを持ってほしいのだが。

原田委員長 挨拶もしない人も多い。

吉松委員 (原案)3ページ「2 区の課題」に医療・介護機関との連携を入れてほしい。
花見川区では医療連携に努力しているのでお願いしたい。

原田委員長 事務局は、どう考えますか。

事務局(田口) 「(3)地域内諸団体、企業・社会福祉法人、NPOとの連携協働」の部分が該当すると思いますが、本文の「様々な団体や機関」に医療機関や介護機関が含まれていると委員の皆様にご共有いただくことで、今回は文言を修正しなくてもいいのではありませんか？

原田委員長 吉松委員の考えは？

吉松委員 「千葉市」は地域共生社会をうたっているのだから、医療との連携を入れてほしい。

原田委員長 文言を入れられないか。

事務局(田口) (事務局内で協議のうえ)本文ではなく、(3)の見出しを「(地域内諸団体、企業・社会福祉法人・医療法人、NPOとの連携・協働)」に改め、「医療法人」の文言を入れることでどうでしょうか。

原田委員長 吉松委員、いかがですか。

吉松委員 ありがとうございます。医療連携は花見川区の特色でもあります。

原田委員長 「地区部会別資料」が「花見川区支え合いのまち推進計画」の区の現状のデータの詳細資料として、多くの人に見てもらえるように「原案」に書き込むことはできないか。

事務局(田口) 推進協議会の会議資料は、千葉市のホームページで公開していますが、「地域部会資料」も公開してよろしいか。

原田委員長 公開してほしい。

事務局(田口) 千葉市ホームページへの公開という形で「地区部会別資料」を多くの人に見てもらえるようにします。

原田委員長 8050問題について民生委員の方のご意見は。

片波見委員 両親が亡くなって子供だけ残った場合、地域との溶け込みがない場合が多い。民生委員として、高齢者名簿には載っていないが、目配りはしている。
ただし、訪問をしても全く反応がない人への対応はこれからの課題と考えている。

原田委員長 金子副委員長のご意見を。

金子副委員長 今回、重点取組地区を決めるにあたって、各自治会にアンケートを取り、半数以上から回答があったが、いろいろな問題を抱えていることを改めて認識した。
課題はあるが、伝統的な行事、敬老会、忘年会・新年会、祭りなどをやめてはいけないと感じた。人と会うチャンスを減らしてはいけない。
古く新しく考えていきたい。

(閉会)

原田委員長が閉会挨拶し、午後4時、花見川区支え合いのまち推進協議会を閉会した。

*会議閉会后、鈴木季代子委員から、「基本方針3（5）地域の幅広い人材の発掘・育成①の重点取組地区」に「検見川地区部会」を追加したい申出があり、市地域福祉課に提出する「原案」に追加することとした。